

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果と考察

令和3年12月3日  
東御市教育委員会

令和3年5月27日に実施されました全国学力学習調査の東御市小中学校の結果の概要について報告いたします。

## ☆ 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題を検証する。また、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## I 児童生徒に対する調査

### 1 教科に関する調査

教科に関する調査（国語、算数・数学）次の①、②を一体的に出題

- ①身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力などに関わる内容

### 2 調査分類・区分

小学校	国語	算数
分類	区分	区分
学習指導要領の内容等	☆話すこと・聞くこと ☆書くこと ☆読むこと ☆言葉の特徴や使い方に関する事項	☆数と計算 ☆図形 ☆測定 ☆変化と関係 ☆データの活用
評価の観点	☆知識・技能 ☆思考・判断・表現	☆知識・技能 ☆思考・判断・表現
問題形式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式

中学校	国語	数学
分類	区分	区分
学習指導要領の領域等	☆話すこと・聞くこと ☆書くこと ☆読むこと ☆伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	☆数と式 ☆図形 ☆関数 ☆資料の活用
評価の観点	☆国語への関心・意欲・態度 ☆話す・聞く能力 ☆書く能力 ☆読む能力 ☆言語についての知識・理解・技能	☆数学的な見方や考え方 ☆数学的な技能 ☆数量や図形などについての知識・理解
問題形式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式	☆選択式 ☆短答式 ☆記述式

## II 児童生徒を対象にした質問紙調査

### 1 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

主な調査項目は

- ・挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
- ・ICTを活用した学習状況
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ・学習に対する興味・関心や授業の理解度等
- ・新型コロナウイルス感染症の影響

## 結果

### 1 概要

○東御市における科目別平均正答率について

- ・小学校の本年度の結果は、国語、算数ともに全国平均とほぼ同等であった。
- ・中学校の本年度の結果は、国語は全国平均とほぼ同等であった。数学は全国平均やや低い結果であった。

### 2 小学校 教科別考察

### (1) 小学校国語

学習指導要領の内容別にみると（話すこと・聞くこと）（書くこと）（読むこと）（言葉の特徴や使い方に関する事項）のどの内容でも大きな落ち込み等がなくほぼ平均と同等であった。内容についてさらに問題別に分析したとき、資料を用いる目的を文章から読み取ることや漢字の書きに課題が見られる場合があった。

日頃から授業場面で、読み取りで文章と文章の内容の関係性を意識させることや目的に応じて、文章や資料とを結びつけて必要な情報を見つけて読むことを重点をおく。また、漢字を場面に応じて使用できるように日常の生活を意識して使ったり、日々のドリルの継続も必要である。

### (2) 小学校 算数

学習指導要領の領域別では（数と計算）（図形）（測定）（変化と関係）では、ほぼ、平均と同等である。これまでやや落ち込みがみられた（図形）の領域で改善がみられた。しかし、問題別にみると、二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する問題で課題が見られた。また、（データの活用）では図表や問題文を読み取りながら、関係性を理解し、表現していく学習を大切にしていける必要があると感じる。

## 3 小学校の児童質問用紙

概ね満足でき今後も力を入れていきたい項目      今後力を入れていきたい項目

新型コロナの影響について

○生活リズムについては食事、睡眠とも規則正しく生活できている子どもが多い。

○携帯電話、スマホ、PCの使用時間は家の人との約束を守って使用している子どもが多い。使用時間についても、4時間以上というような長時間使用の子どもは、全国平均に比べて、少ない。ただ、どちらも約束を守れなかったり、長時間使用をしまっている子どもがいるので、家庭と連携して節度のある使い方を目指していきたい。

○自分のよさの自覚、目標を持って挑戦することなどの質問紙は平均より高めである。中でもむずかしいことでも失敗を恐れずに挑戦するという項目は全国平均より、10ポイント近く高い。前向きな姿勢は大切に育てていきたい。

○「学校に行くのが楽しいですか」の質問について 当てはまる、どちらかといえばあてはまると回答している子どもが昨年度より割合も増加した。

○自分の意見を表現することや話し合い活動にかかわる質問では、話をよく聞き、友だちと課題を解決していこうとする子どもたちが多い。学習の基礎を支えるものであるので、今後も学習活動において子ども同士がかかわりを深め、やりとげたことを実感できる学習を進めたい。

○地域の行事に積極的に参加している子どもが多い。地域とのつながりの強さを感じる

○国語、算数が好きであると回答した子どもの数が全国平均よりやや高い。子どもの意識を大切に授業づくりを引き続き目指していきたい。

●家庭での学習時間が全国平均に比べて少ない。自ら計画をして行う家庭学習の習慣を家庭学習のやり方について、家庭学習の手引きをもとにしていねいな支援をしていく必要がある。

- 授業の中でコンピュータ、ICT 機器の活用がまだ十分でない。4 月より各校で活用が進み職員の研修も行われて学習での活用が急速に進んでいる。今後もさまざまな学習活動で使われるように校内はもとより学校間でも積極的な情報交換をしていきたい。
- 新型コロナウイルス感染症予防の休校に関する質問では、勉強に不安を感じた子どもは半数程度であったが、計画的に学習したり、規則正しい生活をしていた子どもたちの割合が比較的多くと全国平均より高かったが、子どもたちの様子をよくみながら感染予防活動に心がけ、子どもたちの安定を常に考えて行く必要がある。

#### 4 中学校の教科別考察

##### (1) 中学校国語

学習指導要領の領域別（話すこと・聞くこと）（書くこと）（読むこと）（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）の中では、特に（書くこと）（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）で課題がある。話し合いの話題や方向を捉えて話す内容を考える問題では、平均との差がある。評価の観点では国語への関心・意欲・態度に関する問題で平均を下回る結果がでている。日頃より、多くの文章に触れ、自分の考えを持ち、まとめたり、必要な情報を求めるために、質問する学習場面を意識的に仕組む必要がある。

##### (2) 中学校数学

学習指導要領の領域別（数と式）（図形）（関数）（資料の活用）の中では、（数と式）（図形）の領域で課題がある。数学的見方考え方の問題「四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する」で平均よりやや正答率が低い。図形の問題では、中心角と弧の関係の理解に課題がある。

基礎・基本を見直し、基本的な理解を確実にする日々のドリル学習、家庭学習を行い、授業時間でも学習事項の振り返りをしっかりと行う必要がある。

#### 5 中学校の生徒質問紙

- 概ね満足でき、今後も力を入れていきたい項目
- 今後力を入れていきたい項目
- 食事、起床就寝などについては、ほぼ全国平均で生活のリズムが守れている状況である。基本的な生活習慣はすべての活動の基礎であるので、これからも大切にしていきたい。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の質問では、全国平均同等であるが、スマホの使い方については今後も時間も含めて指導していく必要がある。
- 「将来の夢や希望を持っていますか」の質問では、全国平均と同等であるが、前回より増加している傾向である。前向きに夢、希望を大きくしていくかかわりを今後も大切にしていきたい。
- 「学校に行くのは楽しいですか」の質問に楽しいと答えた生徒の割合が平均よりやや多く、前回より増加した。学校が楽しい生活の場であることは、学校での学びが原点であるので、これからも大切にしていきたい。
- 地域行事に関わる生徒が多い。地域の子どもの大切にする思いがコロナ禍でも大切にされていることに感謝し、今後も継続していきたい。

- 「国語が好きですか」の質問に対して、好き、どちらかといえば好きと答えた生徒の割合が平均よりやや高い。学習の基礎となる国語学習に前向きに取り組む傾向は大切にしたい。
- 家庭学習の質問で一日の時間数、休日の時間数が平均よりやや少ない傾向である。「家で自分で計画を立てて勉強しているか」の質問でも同様の傾向が見られる。家での学習のやり方を含めた指導を継続していく必要がある。
- 読書時間がやや少ない。前回は読書が好きである割合が高かったが、本離れの傾向がうかがえる。図書館、本とのかかわりを増やす働きかけを行っていく。
- 「数学は好きですか」の質問に対して、好き、どちらかといえば好きと答えた生徒が全国平均よりやや低い。公式やさまりの意味を考えたり、解き方や考え方を丁寧にノートにまとめる学習をしている生徒が多いので、さらに数理の面白さを感じさせる授業づくりに取組みたい。
- 「学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の意見を深めたり、広げたりすることができていますか」の設問が平均よりやや低い。同様に話し合いにより自分の意見を発表したり、考えを深めていく内容の設問で課題がある。教科全般にわたり、授業の中での話し合い活動の充実を図っていく。
- コロナウィルス感染拡大の休校中に勉強に不安を感じた生徒は全国とほぼ同様の割合であった。不安定な生活で影響を受けたことがうかがえる。また、休校中の学習についてわからないことがあったときの対処について、自分で調べたという回答が6割を超えている。今年度は、休校等はなかったが、既習事項の振り返りを丁寧に行うことを意識して、基礎的な内容について確実な理解ができるように学習を進めている。